

国際交流 Newsletter

2017年05月号

発行 延岡市役所総務部国際交流推進室（総務課内）（国際交流員：カリナ・ブリス）

〒882-8686 延岡市東本小路2-1 T e l . (0982) 22-7006 M a i l : kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

工芸品 ・ Craft ・ Handwerk



写真：Armin Maderholz

指し物師のアルミン・マダーホルツさんがスィスマツ（Pinus cembra）と言う木の家具を作っている様子です。完璧に完工するまで頑張っています。

Guten Tag! Seit März habe ich die Gelegenheit, Handwerkskunst aus Nobeoka nicht nur kennen zu lernen, sondern auch im lokalen Fernsehen im Programm „We waza World“ zu präsentieren. Für mich selbst sind die Dreharbeiten eine Gelegenheit, mehr über Nobeoka und die Region zu erfahren. In den ersten beiden Folgen ging es bereits um „Gogatsu Nobori“, bunte Fahnen die verschiedene Motive und Familienwappen zeigen, und „Wagashi“, japanische Süßigkeiten in besonders schönen Formen. Ich durfte selbst ausprobieren „Wagashi“ zu formen und kann nur meinen Respekt dem Profi gegenüber aussprechen, denn um ein perfektes Ergebnis zu erzielen sind viele Jahre Übung notwendig.

In Deutschland können Handwerker nach Abschluss ihrer Ausbildung den Titel „Meister“ erhalten, welcher heutzutage als gleichwertig mit einem Bachelor Abschluss an der Universität gilt. Handwerkliche und akademische Ausbildung haben also in Deutschland beide einen hohen Stellenwert. Der Begriff „Meister“ und die damit verbundenen handwerklichen Fähigkeiten haben sich auch bis nach Japan herumgesprochen und hier wird der Begriff in einer japanisierten Aussprache manchmal verwendet.

こんにちは！この3月からワイワイテレビの「We技World」という番組に出演することになりました。番組では宮崎県北の様々な職人の「技」を教えてくださいながら紹介します。私にとって、撮影は延岡や県北のことを勉強できる機会です。3月と4月の番組はカラフルな「五月幟」と素敵な形をした「和菓子」についてでした。自分で初めて和菓子を作ってみることにりましたが、長年和菓子を作っている職人さんのように完璧な和菓子は作れませんでした。職人さんを尊敬するしかありません。

ドイツでは、厳しい職人試験を合格した人がマイスター（Meister:巨匠）と呼ばれており、

大学卒業と同じようなレベルとして認めています。ドイツで工芸技術と学問的な教育は両方とも大切です。日本人もマイスターになった職人の素晴らしい技術のことは聞いたことがあるので、たまに「マイスター」を日本語として使っている人もいます。



お客さんが頼んだクラウン形の結婚指輪です。

写真：Goldschmiede Hascheck

Den Titel „Meister“ zu erhalten war vor allem früher sehr schwierig. Meist hat man mindestens ein Jahr als Geselle Arbeitserfahrungen sammeln müssen und dann waren oft noch 3 oder mehr Jahre der „Walz“, das Herumreisen und Arbeiten an verschiedenen Orten, nötig, bevor man sich zur Meisterprüfung anmelden konnte.

昔は、マイスターになることはとても難しいことでした。マイスター試験を受けるためには、一年以上弟子として修業を積み、それから3年以上の「ワルツ」と言う放浪修行が必要でした。



左の写真：Sebastian Wagner

右の写真：Armin Ratzinger
真ん中の写真：Goldschmiede Hascheck

印象的な石碑

金細工師のハシェックさんが指輪をはんだ付けしています。

焼き物窯で800度以上で焼いたガラス細工です。

Das Erwerben eines hohen Grades an Ausbildung lohnt sich aber auf jeden Fall, denn nur so können ganz besondere handwerkliche fachmännisch ausgeführte Produkte entstehen. Egal ob es sich um Kleinkunst wie Schmuck, zum Beispiel Ringe, große Holzmöbel oder anderes handelt, für ein gutes Ergebnis ist viel Fingerspitzengefühl und sicher auch Ideenreichtum erforderlich.

素晴らしい工芸品を造るためには、レベルの高い職業能力が絶対に必要だと思います。小さい指輪や大きい木製の家具など、特別な作品を作るために手先の器用さと様々なアイデアが必要だと思います。

簡単なドイツ語を紹介します！



Was machen Sie beruflich?

Ich arbeite als _____.

Was ist Ihr Hobby?

Mein Hobby ist _____.

ヴァス・マッヘン・ズイー・ベルーフリヒ?

イッヒ・アルバイテ・アルス _____

ヴァス・イスト・イーア・ホビー?

マイン・ホビー・イスト _____

お仕事は何ですか。

私は_____として働いています。

趣味は何ですか？

私の趣味は_____です。

国際料理コーナー

4月の料理教室でスイスのゾロトゥルン風スープなどを作りました。

ゾロトゥルン風スープ

Soledurner Wysüpli

出来上がりの分量: 5 人前

調理時間: 45 分

作り方

1:

コンソメをお湯で溶かす。(もしくはコンソメと白ワイン)

人参と長ネギを切って、鍋に入れる。10分ぐらい茹でる。

2:

生クリームと卵の黄身(2個)をボウルに入れて混ぜる。火を消して、鍋のコンソメを混ぜながら、生クリームと黄身を少しずつ入れる。火をもう一回つけて、沸騰する前に消す。スープを5つのお椀に入れて、10分ぐらい待つ。

3:

オーブンを220℃に予熱する。パイ・シートを伸ばして、スープ椀のサイズに切る。お椀に付けるためにお椀の縁に黄身を付ける。残りの黄身を上に塗る。

4:

オーブンを180℃にして、スープを10~15分ぐらい焼く。

できあがり。



材料

(肉の)コンソメ

600ml

(もしくはコンソメ400mlと白ワイン200ml)

人参(さいの目)

1本

長ネギ(細く切る)

100g

生クリーム

100ml

卵の黄身

2個+1個

塩、こしょう

少し

パイ・シート

2~3枚

オーブンで使える椀も準備して下さい。

4月の料理教室の写真



世界なキレイなまちの紹介

シアトル
Seattle (アメリカ合衆国)

アメリカ合衆国ワシントン州

人口：約68万人



今回のニュースレターで延岡市のALTキャサリン・カニングハム（ケイティー）さんがアメリカのシアトル市の紹介をしてくれます。ケイティーさんはシアトルの近くにあるムキルトオ市の出身で、シアトル市のこともよく知っています。

シアトル市は「Emerald City」（エメラルドのまち）や「Rain City」（雨のまち）と呼ばれているアメリカのまちです。アメリカの北部にあり、カナダに隣接し、カナダのトロント市やオタワ市やモントリオール市より緯度が高いまちです。雨のまちと呼ばれていますが、実はシカゴ市はニューヨーク市より降雨量は少ないのです！山と海と湖もあり、自然豊かで多く緑が多いまちです。

シアトル市がある場所は、昔はネイティブ・アメリカンの人々が長く住んでいて、今もネイティブ・アメリカンからの影響が続いています。例えば、シアトルの市名は元々ネイティブ・アメリカンの名前でした。周りのまちの名前もネイティブ・アメリカンに由来した言葉が多くあり、ワシントン州以外に住んでいるアメリカ人は市名の正しい発音を知りません。例えば「Chehalis」と言う市名をワシントン州に住んでいないアメリカ人に見せたら、発音が多分「チェハーリス」などになりそうですが、本当の発音はカタカナで書いたら「チェヘリス」となります。現在のアメリカ人でもネイティブ・アメリカンの言葉の発音は難しいそうです。

世界中で知られている有名な会社はその多くがシアトル市で設立されました。例を挙げると、ボーイング、マイクロソフト、アマゾン、コストコ、そしてスターバックスがシアトルで設立された会社です！そして、日本との繋がりもたくさんあります。例えば、紀伊國屋、ダイソーなどといった日本の店がシアトルにあります。それ以外にサクラ・コンと言う大きなアニメ関係イベントもあり、毎年、盆踊りがある祭りも行われています。楽しいまちです！

ALTコーナー

アメリカワシントン州出身のケイティーさんがシアトル市のことをもう少し書いてくれました！

While many people picture the Space Needle when they hear the name “Seattle,” most Seattleites will tell you that we have a different mental picture of the city: the iconic red “PUBLIC MARKET CENTER” lights above Pike Place Market.

「シアトル市」と聞くと、スペースニードル（有名な塔の名前）を思い浮かべる人が多いですが、シアトル人はすぐ違う事を思い浮かべます。それはパイク・プレイス・マーケットの正面の上にある赤い文字に「PUBLIC MARKET CENTER」が書いてある看板のことです。



パイク・プレイス・マーケット

Pike Place Market was opened in 1907, and it is one of the oldest continuously-operating farmers' markets in the United States. While this market is very popular with tourists (receiving over 10 million visitors a year!), the market is also a favorite place for citizens of Seattle. When I am home, I love going to the market with my friends and family. We enjoy seeing beautiful fresh seafood, eating delicious Chinese hum bao (nikuman in Japanese), and shopping at the market's many amazing produce and craft stalls.

Pike Place Market is divided into two sections: the south side of the market, which is full of fresh produce; and the north side of the market, which is full of handmade crafts. While I love the flower arrangements, hot cider, and ripe fruit of the produce section, the best part of a market visit is always the craft section. In fact, the north side of Pike Place Market is where I always like to go to shop for birthday and Christmas presents.

パイク・プレイス・マーケットは1907年から現在まで営業が続いているアメリカの中でも歴史が長いファーマーズマーケットの一つです。このマーケットは観光客だけではなくて（毎年1000万人以上の観光客が来ます！）、現地のシアトル人にも愛されています。ワシントン州にいる間、友達や家族とパイク・プレイス・マーケットに行くのが好きです。美味しそうな海産物を見たり、美味しい中国の肉まんを食べたり、マーケットのブースで売っている工芸品などを買ったりするのが楽しいです。

パイク・プレイス・マーケットは二つのエリアに分かれています：南エリアの方では生鮮食品・果物、そして北エリアでは手作りのものを売っているブースがあります。南エリアに売っているアレンジフラワーやホット・サイダー、熟した果実が好きですが、いつ行っても一番面白いのは北エリアの工芸品です。実は、誕生日やクリスマスプレゼントを買う時はいつもパイク・プレイス・マーケットの北エリアに行きます。

My favorite crafts are also crafts that the Pacific Northwest is famous for: blown glass and woodworking. The blown glass is always very beautiful: bright colors swirled in the shapes of Christmas ornaments, paper weights, fish, and pumpkins. Blown glass from Seattle is special in that most of it is made using volcanic ash from the Mt. St. Helens eruption in 1980. It is also a point of pride for Seattle, since famous glass artist Dale Chihuly is from our area. The polished wood crafts are also special to Washington State. They are made from beautiful Pacific Northwest cedar and often feature Native American-influenced art, such as orca whale and eagle designs.



チフリー・ガーデン・アンド・ガラス（美術館）

ケイティーさんの家族がシアトルで撮った家族写真

Because the market requires that the craftsmen appear in person to sell their wares at least twice a week, shoppers are able to learn a lot about the crafts and how they are made. It's a very cool way to find beautiful works of art and learn about Pacific Northwest culture.

Of course, the market is also full of many other crafts: sewed toys, hand-carved ocarinas, woodblock prints, journals made from tanned leather and pressed paper, beeswax soap and beauty products, jewelry...no matter what you're interested in, you can find something at Pike Place Market. The market even features the very first Starbucks location, which sells exclusive coffee beans and mugs that you can't buy anywhere else in the world!

Seattle is a big city, but Pike Place Market represents all of my favorite things about the area: delicious seafood, abundant fruit, and culturally-rich craftsmanship. If you're ever in Seattle, you should visit. I'll probably be there, too!

一番好きな工芸品はアメリカの太平洋岸北西部の工芸品として有名な吹きガラスと木工品です。吹きガラスはあざやかな色が渦巻いているクリスマス飾りや文鎮、魚やカボチャなどがあり、いつ見てもとてもキレイなものです。シアトルの吹きガラスのほとんどはセント・ヘレンズ山が1980年に大噴火を起こしたときの灰から作られており、特別なものです。そして、有名ガラス彫刻家のデイル・チフリーさんがシアトル近辺の出身であることも、シアトル人は誇りに思っています。光沢のある木工品もワシントン州の特別な物です。太平洋岸北西部の杉材から作られ、シャチや鷲などのネイティブ・アメリカンなモチーフがよく使われています。

マーケットでブースを開くために工芸家が毎週少なくとも2回はマーケットに来ますので、お客さんが工芸品とその作り方について様々なことを勉強できます。このように素敵な工芸品を見つけたら、太平洋岸北西部のことも勉強できるのがすてきですよ。

もちろん、他にもたくさんの工芸品がマーケットにあります：布で作ったおもちゃ、手作りのオカリナ、木版画、なめし皮や紙で作られた日記、蜜蝋の石けんや化粧品、アクセサリーなど、パイク・プレイス・マーケットでなんでも見つけられます。スターバックスの1号店もマーケットの中にあり、世界中のどの店でも買うことができない特別なコーヒー豆やマグカップが売られています。

シアトル市は大きなまちですが、私の好きな物がすべてパイク・プレイス・マーケットにあります：美味しい海産物、豊富な果物、そして文化的な工芸品です。もしシアトルに行ったら、ぜひこのマーケットにも行ってみてください。私もいるかもしれません！

Comicコーナー

アメリカ出身のエリンさん（延岡市ALT）が今回のニュースレターのために漫画を描いてくれました。



学生：「エリン先生、日本に来た時、一番びっくりした事は何でしたか？」

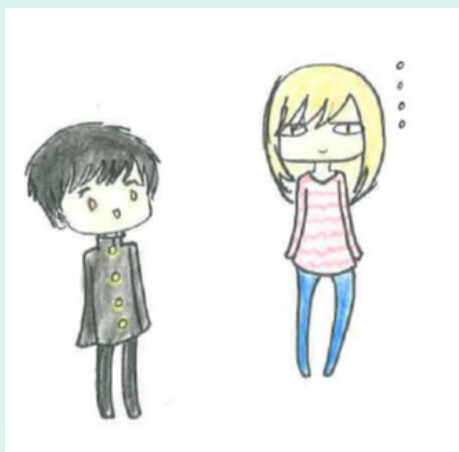


エリン：「えーと、家に入る時、靴を脱ぐのは結構びっくりしましたね。」

学生：「やっぱり！そうですね！」



本音が言えないけど…



「靴のことですね！」

Upcoming Events!

これからの国際交流イベント（5月・6月・7月）

◇ ドイツ語講座 & ランチと国際交流フリートーク

日時： 5月24日(水) & 6月7日(水)・21日(水) 11時～13時

場所： 社会教育センター（5月:会議室3、6月:会議室1）

⇒ドイツ語講座：簡単なドイツ語の勉強

時間：11時～12時

⇒ランチと国際交流フリートーク：ランチを食べながら、日本語（英語・ドイツ語）で会話をしましょう！

時間：12時～13時（*お弁当を持参してください。）

※申込み不要です。

◇ ドイツ語で話してみよう！

日時： 6月14日（水） 18時～19時

場所： 社会教育センター（研修室6）

内容： ドイツ人の国際交流員とドイツ語で様々なテーマについて話してみよう。

ドイツ語を楽しみながら、レベルアップできます！

参加者： ドイツ語で話してみたい方、参加してみてください！ 聞くだけでも大丈夫です！

※申込み不要です。

◇ 「はじめてのドイツ語」

日時： 6月24日（土） 9時半～12時（*休憩あり）

場所： 川中コミュニティセンター（〒882-0816 延岡市桜小路360-2）

内容： ドイツ語初心者向けの講座になります。簡単なドイツ語を勉強してみませんか？

今回のドイツ語講座・文化理解講座では「あいさつ、自己紹介、ドイツ語で延岡のことを紹介する」がテーマになります。

簡単なドイツ語を教えながら、ドイツのことも紹介したいです。例えばドイツ人がよく使っているジェスチャーを紹介します！

申込み： 電話かメールでお申込みください。

締切： 6月22日（木） 先着30名

◇ 国際交流員の楽しい料理教室

日時： 7月1日(土) 10時～13時半

場所： 社会教育センター（調理室）

参加者： 中学生以上の方

参加費： 1,000円

申込み： 電話かメールでお申込みください。

締切： 6月28日（水） 先着16名



7月の料理教室では

⇒ バルサミコのヒレ豚肉

⇒ 人参のグラッセ

⇒ ローズマリー・ポテト

などを作ります！



連絡先（申し込み・質問・コメントなど）

Tel. (0982) 22-7006（総務課内）

Mail: kokusai@city.nobeoka.miyazaki.jp

国際交流ニュースレター作者：カリナ・ブリス

出身：ドイツ、アウグスブルク市

2016年から延岡市の国際交流員

